

解答

一

問一 ア だきよう イ がんこ ウ ろうにやく エ ちんたい オ えいたつ

問二 A ウ B オ C エ D ア E イ

問三 I ウ II イ

問四 5

自分の主張や感情をおさえて周りの人に合わせることを。

問五 昔の仲間がそろって出世するとはかぎらないということ。

問六 古ければ古いほど甘美になる友情

問七 友人に対し何かの助力を期待せず、まさかの場合には当てにならないと最初から覚悟をしておくという心構え。

二

問一 ア 古傷 イ 器用 ウ 手招〔き〕 エ 品定〔め〕 オ 滑〔って〕

問二 1 さっさ 2 ひそめ 3 あわて

問三 壁に描かれた絵の秘密を知るためお風呂の掃除を手伝わせてもらおうとする強い気持ち。

問四 ア 手伝わせるわけにはいかん イ 手伝っちゃいけないとはいわん

問五 (1) 頑な木島さんの心を開く効果。 (2) すると、木 くり投げた。

問六 木島さんは くり たまだ。

問七 わたしと実くんの熱意に押され手伝いを認める気持ち。

問八 お風呂掃除を手伝わせてもらうために、実くんのおばあさんを登場させた計画が成功し、うれしくなって二人で喜びあう気持ち。

解説

一

問六 ——線②に続く部分から、仲間同士で少しの問題にもならないことについて考えると、「その仲間がそろって

出世するとはかぎらない。」ことであると思われるので適切な形にまとめます。

問八 最後から二つ目の段落に着目します。ひとつつき合う上の態度について説明があるので、「何かの助力を期待して結ばれる友情ほど頼りにならないものはない。まさかの場合には当てにならないと最初から覚悟しておく」という箇所をまとめます。

二

問六 ——線④には「にこにこ笑っている」とあり、おばあさんの楽しそうで穏やかな様子がわかります。それ

と対照的な木島さんの態度は、おばあさんの提案に戸惑っている様子がわかる「木島さんは口をもごもごこと動かして、つつ立ったままだ。」という一文に表れているので、設問の指示に従って答えます。

問八 本文全体から、お風呂の掃除を手伝うことを木島さんからなかなか許してもらえず、実くんのおばあさんに登場してもらい、ようやく認めてもらったことがわかります。自分たちの計画が成功し、喜んでいることとあわせて書き表します。